

ならコープ環境保全活動  
2019年度助成団体報告集





## 2019年度 ならコープ環境保全活動助成団体報告集の発行にあたって

2020年7月1日より、日本全国でレジ袋有料化の制度がスタートします。これは、地球規模での資源・廃棄物制約、海洋プラスチック問題、地球温暖化等への対策として、プラスチックの3R(リデュース、リユース、リサイクル)や適正処理を更に推進し、またイノベーションを促進することなどを目的として2019年5月に政府が「プラスチック資源循環戦略」を策定し、その重点戦略の1つとしてリデュース等の徹底を位置づけ、「レジ袋有料化義務化(無料配布禁止等)」を通じて消費者のライフスタイル変革を促すとしたことによるものです。日本全体の取り組みとして、より一層の環境保全活動に広がることを期待します。

ならコープでは創立以来、「よりよい生活は、平和とよりよい環境の中でこそ実現する」と考え環境保全活動を基本理念として位置づけ、すべての活動の基本としてきました。マイバッグ運動の取り組みは、1982年から組合員にレジ袋の有料化への理解と協力を呼びかけ、さらに2007年9月からは全店でのレジでの清算方式での有料化導入を行いました。ならコープ全店でのマイバッグ持参率はここ10年以上にわたって90%以上を維持されています。また、レジ袋代金は環境資金として活用し、2005年度からは、環境保全活動団体への活動助成金制度を設置し運用してまいりました。2019年度活動助成を行った25団体、助成総額98.4万円を含め、15年間に行った活動助成は、のべ285団体、計1292.4万円の助成となり、地域の自然環境、地球環境の保全に関わる調査・研究活動、教育・啓発活動、政策提言活動、環境保全の実践活動に役立てられています。助成を受けられた活動団体の皆様には、助成活動内容の報告、活動団体同士、あるいはならコープ組合員との活動交流など環境企画にも大いに参加いただいています。この度、各団体からご提出いただいた活動報告をとりまとめ、「ならコープ環境保全活動2019年度助成団体報告集」を発行するのはこびとなりました。ならコープのすすめるマイバッグ運動、レジ袋削減に取り組む背景や目的・意義、レジ袋代金=環境資金の活用状況についてのお知らせ、活動助成団体の報告や交流の場を設けるなどの取り組みにも役立ててまいります。

ならコープでは、1991年に環境基本政策を策定して以来、定期的にその振り返りを行い、さらなる目標の設定とその実現に向けた計画推進を図ってまいりました。現在は「2020年に向けた新たな環境政策」のもと様々な取り組みを行い、次期に向けた検討をすすめるため「ならコープ2030環境ビジョン策定プロジェクト」を2019年度に立ち上げました。これまでに「2020年に向けた新たな環境政策」に基づいた振り返りのもと検討をすすめ中間とりまとめを行い、下記の3つの数値目標と組合員の行動指針の4つの目標案を定めました。

- |     |                               |                    |
|-----|-------------------------------|--------------------|
| 目標1 | CO2排出量50%削減(基準年:2013年度)       | ※2050年にはCO2排出量実質ゼロ |
| 目標2 | 食品廃棄量50%削減(基準年2019年度)         |                    |
| 目標3 | プラスチック容器包装排出量30%削減(基準年2018年度) |                    |
| 目標4 | 組合員の行動指針                      | エシカル消費を拡大          |

これらの案については、機関紙「あをがき」2020年4月号でパブリックコメント募集、様々な機関会議での学習と意見交換をすすめ、プロジェクトチームで論議し最終答申案を取りまとめます。理事会での最終確認は、2020年秋を予定しています。2月に開催した2019年度環境保全活動助成団体交流会でも、この目標案に対しアンケートをお願いし、より積極的なビジョン策定を行う方向での期待の声を多くいただきました。様々な形での論議が環境問題への関心を広げ、これらの目標の実現を後押しする力となるはずです。マイバッグ運動、レジ袋削減の取り組みがレジ袋有料化の法制化となるまで40年以上の時間がかかっている間に、地球環境問題はより一層深刻な段階へとすすみました。未来の世代、持続可能な地球環境のために私たちはどうしていかなければならないのか大いに論議していかなければなりません。みんなの意思のこもった「ならコープ2030環境ビジョン」とし、一人でも多くの行動参加を呼び掛けながら、その実現をはかってまいりましょう。

この冊子についても広く読んでいただき、奈良県各地の皆様素晴らしい活動に賛同と共感が生まれ、環境保全活動の輪が今後も大きく発展していくよう祈念し、むすびのことばといたします。

市民生活協同組合ならコープ  
理事長 中野 素子

## 2019年度環境保全活動助成団体一覧

	団体名	主な活動地域	助成事業テーマ
1	蒼池の会	奈良市	蒼池の自然環境を守り活かす活動
2	秋篠川源流を愛し育てる会	奈良市	秋篠川の環境保全と啓発活動（秋篠川を“ふれあい いこいときめぎ”の場に！）
3	アースデイ奈良2019実行委員会	奈良市	アースデイ奈良2019 こんな“ゆたかさ”はいかが？見本市 本部企画『SDGsについて』
4	いこま棚田クラブ	生駒市	生駒市西畑地区の棚田・里山の再生と創造
5	特定非営利活動法人うだ夢創の里	宇陀市	食を守ることは、地球を守ること
6	馬見シェアリングネイチャーの会	北葛城郡	ネイチャーゲームや自然体験活動を通して、自然を楽しみ自然と遊び自然を学ぶ喜びを知ること。
7	馬見自然塾	北葛城郡	馬見自然塾（自然観察会）
8	NPO法人エコパートナー21	奈良市	子どもたちと食・農・環境への理解を深める活動
9	笑郷（えこ）まほろばの会	香芝市	二上山山麓の貴重な自然と歴史を学び印刷物にする
10	特定非営利活動法人宙塾	奈良市	菜の花プロジェクトによる環境啓発活動
11	春日原始林を未来へつなぐ会	奈良市	春日山原始林観察会の実施
12	川西町・サークルお花畑	川西町	花とみどりのまちづくり 地域の環境・美化活動、ゴミの減量とリサイクル、住民の交流の場づくり
13	NPO法人関西ワンディッシュエイド協会	生駒市	陶磁器の循環系社会の構築
14	NPO法人グリーンスポーツ奈良	奈良市	『自然・環境を大切に作る心の育成』～ダンボールコンポストで生ごみを有機肥料に変える活動を通して～
15	特定非営利活動法人サークルおてんとさん	奈良県	地球温暖化防止やエネルギー問題に関する講演会の開催
16	里山の山野草を守る会	桜井市	里山の山野草を守る保全活動
17	町思会	奈良市	五カ谷の里の景観を守り、この地域の発展と活性化に寄与すると共に会員相互の親睦を図る
18	特定非営利活動法人東洋蝙蝠研究所	奈良県	コウモリ探知機（バットディテクター）製作教室
19	NPO法人奈良ストップ温暖化の会（NASO）	奈良市	地球温暖化（気候変動）適応策の啓発活動リーダーの育成
20	奈良・人と自然の会	奈良市	『ならやま景観整備事業』のピオトープ池整備および絶滅危惧種『ニッポンバラタナゴ』の育種環境の安定化
21	ビーフォレスト・クラブ	奈良市	激減する在来種の大和ミツバチ（ニホンミツバチ）の保護及び繁殖環境を整え、草木の授粉率をあげ、自然の森を再生させる
22	平群里山クラブ	平群町	ナラ枯れ対策による雑木林の景観保全と広葉樹の育苗・植樹
23	平群ホタルッチの会	生駒郡	ホタルは人間と自然が共存し合う環境のシンボルであり、ホタル文化の醸成を理念とする
24	山守の会プラス彩雲ひろば	奈良市	里山林の保全と利用促進
25	緑友会	奈良県	歴史と環境に配慮した景観保全活動

団体名	蒼池の会
事業テーマ	蒼池の自然環境を守り活かす活動
主な活動場所	奈良市学園朝日町 蒼池
助成事業の成果・メッセージ	蒼池は奈良市西部にあるため池跡地です。池の環境保全のために、年間通して清掃美化活動と生き物調査を継続しました。春には自然の草花の観察を目的としたイベントを、秋には季節に親しむためのスケッチ会を開催しました。活動に必要な周回通路を維持するため、草刈り・枝払いと現地の素材を使った整備をしています。蒼池は古い起源を持つ歴史的な場所で、自然環境としての価値のほか、歴史遺産として保全する意義も広く発信して行きます。



団体名	秋篠川源流を愛し育てる会
事業テーマ	秋篠川を“ふれあい いこい ときめき”の場に
主な活動場所	奈良市中山町西 1丁目～4丁目
助成事業の成果・メッセージ	地元小中学校の校長先生が秋篠川の清掃に参加し、ホームページで広く紹介してくれ、保護者の関心も高まった。本年度発足した平城西地域自治協議会が、今後取り組むべきテーマに秋篠川の環境整備が取り上げられた。桜幹に掲げられた児童の環境標語を見て、親子孫3世代の会話が弾んでいる。川のごみや犬の糞が無くなり、秋篠川が健康ウォーキングの公共空間となってきた。



団体名	アースデイ奈良2019 実行委員会
事業テーマ	アースデイ奈良2019 “こんな”ゆたかざ”はいかが？見本市本部企画「SDGsについて」
主な活動場所	奈良公園登大路園地
助成事業の成果・メッセージ	本部企画「SDGsについて」に助成金を活用させていただきました。西の京高校生を中心に、出展者説明会でSDGsについて考え、発信するためのワークショップを行い、当日は各ブースが17のゴールのどれに関連するブースなのか掲示をすることで、参加者にも「分かりやすい」と好評でした。また、JICA 関西に協力してもらっての展示や、ステージでのアピール、パンフレットへの掲載など、SDGsを知ってもらうために総合的な情報発信を行いました。



団体名	いこま棚田クラブ
事業テーマ	生駒市西畑地区の棚田・里山の再生と創造
主な活動場所	生駒市西畑町の棚田、里山（向山）
助成事業の成果・メッセージ	活動17年になる。毎週1回の棚田、里山保全活動で景観がキープされている。子どもむけの体験会を多く開催して西畑町の棚田行事が定着している。地元自治会との協業も円滑で無くてはならない存在になっている。ならコープ主催の「菜の花エコプロジェクト」もリピーターの家族が多く子どもさんの成長に保護者の方も多くなる期待を寄せている。



団体名	特定非営利活動法人うだ夢創の里
事業テーマ	食を守ることは、地球を守ること
主な活動場所	うだ夢創の里
助成事業の成果・メッセージ	うだ夢創の里では、毎年地元の小学生と共に年間通して米作り、また畑では芋を共に植え付け、草刈り、収穫をし、市内の小中学校の給食に食材提供をしたりもしています。今回、安全な食を自ら育て食する生活が自らの体だけでなく地球環境にも影響していることを再認識するため、小さな子供を育てるお母さんと映画、食事、味噌づくりを通して共有できる時間をもつことができました。



団体名	馬見シェアリングネイチャーの会
事業テーマ	ネイチャーゲームや自然体験活動を通して、自然を楽しみ自然と遊び自然を学ぶ喜びを知ること。
主な活動場所	馬見丘陵公園
助成事業の成果・メッセージ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子供から大人まで、ネイチャーゲームと木工体験を通して、5感を使いながら馬見丘陵公園の自然を体感することが出来ました。それによって自然を大切にす心の醸成ができたと思っています。</li> <li>2. 新規ネイチャーゲームリーダー（資格者）が入会しました。</li> <li>3. ネイチャーゲームの実践を通じて、馬見シェアリングネイチャーの会メンバーの更なるスキルアップを図ることができました。</li> </ol>



団体名	馬見自然塾
事業テーマ	「見て」「聞いて」「触って」「嗅いで」「食して」の五感を基本とした馬見丘陵公園の定点観察会
主な活動場所	馬見丘陵公園
助成事業の成果・メッセージ	観察会出席者数は1～5回（山の日川の日含）延べ参加人数137名（会員数：約85名）。本年度の観察会は馬見丘陵公園のみならず近隣の「ほのぼの公園」や「豆山の郷」で実施しました。また子どもや保護者にも自然と触れ合う機会を持っていただくため「山の日川の日」の企画を活用し“子ども樹木博士と木工クラフト”を実施しました。会員向け情報誌として「馬見自然塾通信」を6回発行しています。



団体名	NPO 法人エコパートナー-21
事業テーマ	子どもたちと食・農・環境への理解を深める活動
主な活動場所	奈良市奈良阪町の農園ほか (利用前は遊休農地であったところ)
助成事業の成果・メッセージ	今回も多くの子どものために農業体験の場を提供し、自然環境が育む野菜を収穫できる喜びを感じてもらえました。とれたて野菜のおいしさも味わえ、野菜嫌いの子も野菜好きになってくれたりしました。大人に成長したとき、ここでの体験を少しでも覚えていてくれたらと期待しています。助成金により充実した活動に取り組むことができ、有り難うございました。今後も活動を継続しますので、これからもよろしく願いいたします。



団体名	笑郷（えこ）まほろばの会
事業テーマ	二上山山麓の貴重な自然と歴史を学び印刷物にする
主な活動場所	香芝市 二上山近辺 穴虫・畑地区
助成事業の成果・メッセージ	空家をリノベーションした竹の杜を拠点に活動を推進した。荒れている奈良県の天然記念物でもある屯鶴峯近辺の歴史ある自然を大人も子どもも楽しめる森としての整備を行政とともに実施していこうという気運が生まれた。他団体との交流、連携を深めて、定例的な自然観察会を充実するとともに、二上山周辺や屯鶴峯の自然と歴史を学ぶためのテキストや森の散策地図などを順次作成していきたい。



団体名	特定非営利活動法人宙塾
事業テーマ	菜の花プロジェクトによる環境啓発活動
主な活動場所	奈良市
助成事業の成果・メッセージ	菜の花プロジェクトという環境プロジェクトが子ども達の中に知られるようになった。 自分たちの生活に必要なエネルギーを自分達で再生可能なものから作るライフスタイルに変換していくことが大切であることを広く知ってもらえることが出来た。自分たちの学校給食から排出された廃油で菜の花畑のトラクターが動くことを知って、地球温暖化問題・再生可能エネルギーについて考えるきっかけづくりとなった。



団体名	春日原始林を未来へつなぐ会
事業テーマ	春日山原始林観察会の実施
主な活動場所	奈良公園・春日山原始林
助成事業の成果・メッセージ	今年度は、通常開催している春日山原始林観察会を4回【テーマ：昆虫、スケッチ、ネイチャーゲーム、野鳥】で開催。また、夏休みの親子対象のプログラムを1回開催した。一部参加定員の少ない回もあったが、一定の講師料を確保することができ、満足度の高い観察会を開催することができた。次年度は、より多くの観察会の開催を予定している。



団体名	川西町・サークルお花畑
事業テーマ	花とみどりのまちづくり
主な活動場所	近鉄結崎駅構内、周辺駅前公園、結崎公民館周辺
助成事業の成果・メッセージ	活動を始めて22年経過したが、その間新しい試みを取り入れつつ、当初のテーマに沿った内容で自主的に多種多様な活動をしてきた。結果常に住民の積極的な参加を促して継続する態勢が築かれ、地域で定着することが出来た。今後も住民誰もが気軽に参加できる地域の絆づくりと日常的な環境美化の啓蒙と実践の場としていきたい。現在、地域の駅周辺の整備事業が進行中。環境にも配慮した住民の憩いの場となるよう要望している。





団体名	NPO 法人関西ワンディッシュエイド協会
事業テーマ	陶磁器の循環系社会の構築
主な活動場所	奈良県大和高田市
助成事業の成果・メッセージ	活動に必要な輸送費等に対して助成していただけたため活動を継続することが出来ました。 今年度、コープたかだ店が 9 月に閉店になることになり・・・活動の場がなくなることで活動が休止することになりました。今後・・・また私たちの活動ができる状況が整えば少しずつスタートさせていきたいと思っています。



団体名	NPO 法人グリーンスポーツ奈良
事業テーマ	自然・環境を大切にする心の育成 —ダンボールコンポストで生ごみを有機肥料に変える活動を通して
主な活動場所	奈良市斑鳩町役場、奈良市役所、奈良市立小学校
助成事業の成果・メッセージ	奈良市役所で 2 回ダンボールコンポスト (DC) 講習会を開催し、40 人の参加がありました。奈良県斑鳩町では、DC 講演会に 15 人の参加がありました。奈良市立小学校 4 年生教室で、8 校 (18 クラス 484 人) に、生ごみを有機肥料にリサイクルする学校出前講座を行いました。世界では CO2 大量排出により、地球温暖化が進み、環境の大切さを伝えることができ、又、生ごみリサイクルにも取り組んでいただきました。



団体名	特定非営利活動法人サークルおてんとさん
事業テーマ	地球温暖化防止やエネルギー問題に関する講演会の開催
主な活動場所	奈良商工会議所 会議室 A・B
助成事業の成果・メッセージ	2019 年 9 月の巨大台風での停電で太陽光発電はどう機能したか等を講演いただき、日頃から自立運転機能への切り替え練習をすること、発電設備は地域住民に提供する等公器として活用できること、災害に強く屋根を守る作用があること、災害時には感電のリスクもあること等参加者の参考になることが多い講演だった。市民共同発電所の蓄電池付き設備利用状況と若者の温暖化防止活動報告もあり、取り組みを認識し応援いただく機会となった。



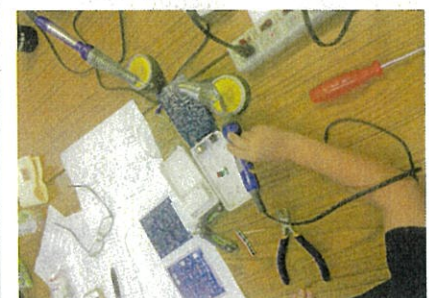
団体名	里山の山野草を守る会
事業テーマ	里山の山野草を守る保全活動
主な活動場所	桜井市三谷
助成事業の成果・メッセージ	今年も桜井市三谷とその周辺地域で山野草自生地の保全活動を会員68名で5班に分かれ実施してきた。それぞれのフィールドでは奈良県のレッドデータブックに記載されている多くの山野草が自生しており、毎月観察・保全活動を行い、貴重な山野草の成長記録を作成することができた。また、イノシシの被害も生じたことから対策も実施してきた。今後も一層保全活動に力を入れていきたい。



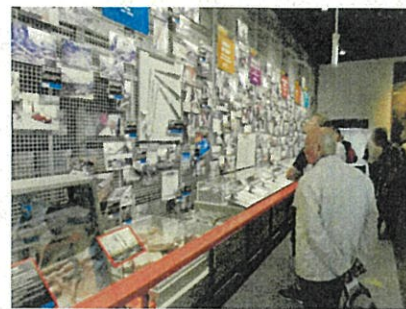
団体名	町思会
事業テーマ	五ヶ谷の里の景観を守り、この地域の発展と活性化に寄与すると共に会員相互の親睦を図る。
主な活動場所	五ヶ谷の里（奈良市高樋町を中心とした地域）
助成事業の成果・メッセージ	今年度は、かねてより計画していた地域交流と活動拠点としてのビニールハウスを、会員それぞれが得意分野を活かし、協力して建てることができました。助成戴いたお金では、野菜づくりに必要な資材購入や燃料費などにたに使わせていただきました。私達のグループは高齢化が進んでいます。賛同者を増やし、この活動が長く続けられるようにしたいと思っています。



団体名	特定非営利活動法人東洋蝙蝠研究所
事業テーマ	コウモリ探知機（バットディテクター）製作教室
主な活動場所	奈良市広岡町 こうもり博物館
助成事業の成果・メッセージ	今回のBD製作教室には合計5名、3台のバットディテクター製作に挑戦くださいました。身近で生活している動物にもかかわらず直接見る機会は少なく、どんな生活をしているのかわからない。そんなコウモリへの理解を深めるためにも、現在の日本におけるコウモリ類の現状を伝え、正しい知識を得るための活動をすすめたいと考えています。今回製作した探知器を用いて、コウモリ観察に役立ててもらえればと思います。



団体名	NPO 法人奈良ストップ温暖化の会 (NASO)
事業テーマ	地球温暖化（気候変動）適応策の啓発活動リーダーの育成
主な活動場所	人と防災未来センター（神戸市）
助成事業の成果・メッセージ	6月18日「人と防災未来センター」見学と「気候変動適応策」講演を開催しました。当センターは阪神・淡路大震災の経験と教訓を継承し、防災・減災のための国内有数の施設です。被災体験者から体験談を聴き、阪神・淡路大震災を再現した映像と音響で震災のすさまじさを体験し、また色々な展示フロアや東日本大震災の臨場感ある3D映像を見学しました。その後、大阪ガスエネルギー・文化研究所にて「気候変動適応策」についての講義を受けました。今後の啓発普及活動に役立つセミナーであり、リーダー育成のために有意義な1日となりました。



団体名	奈良・人と自然の会
事業テーマ	「ならやま里山景観整備事業」のピオトープ池の整備および絶滅危惧種「ニホンバラタナゴ」の育種環境の安定化
主な活動場所	奈良県奈良市佐紀町、奈良阪町にわたる「ならやま里山整備事業地」内ピオトープ池
助成事業の成果・メッセージ	春の菖蒲や夏の睡蓮や蓮の開花はこの「ならやま」の地を訪れる人達の和みとなり、夏のピオトープ池での観察会参加者には水辺の生物との触合いとなり楽しんでもらえました。また、タナゴ池の田貝を金網の中で育種することでザリガニの攻撃から守ることに成功した。来年度は田貝の稚貝が生まれ育ち、これまで以上に蜻蛉や虫などの水生昆虫が増え、四季折々の花が彩りを添えてくれる環境になるよう頑張っていくつもりです。



団体名	ビーフォレスト・クラブ
事業テーマ	激減する在来種の大和ミツバチの保護及び繁殖環境を整え、草木の受粉率を上げ、自然の森を再生しよう。
主な活動場所	奈良県を中心として、全国を支援。
助成事業の成果・メッセージ	助成戴いた簡易イーゼルを使って、ミツバチの生態や誤解、森との繋がりや生態系の中での役割等、ミツバチが森をつくる不思議を伝えるミニパネル展をセミナーとともに実施。次年度はフルパネル展を実施予定です。色々工夫をしながら、ビーフォレスト活動は大きく拡大しています。環境活動指標としてのマップ作りとともに、ポリネーター環境や森の植生等について、近大や奈良先端科学技術大学院大学とも共同研究も進めていきます



団体名	平群里山クラブ
事業テーマ	ナラ枯れ対策による雑木林の景観保全と広葉樹の育苗-植樹
主な活動場所	奈良県生馬6 平君櫛原通楸カチカチ山と周辺の染木、衣桜 杵ヒノキ山
助成事業の成果・メッセージ	継続している環境保全活動については計画通り実施しました。今年度は活動作業の安全が脅かされていた、ナラ枯れ被害をうけた大径木の伐採を1月に実施しました。伐採木の有効活用としてシイタケ栽培のほだ木に活用しました。子供たちを対象とした自然体験教室や地域のイベントに積極的に参加する事で子供たちの自然とふれあう接点として有効であり、今後も継続していくことが重要と考えています。



団体名	平群ホタルッチの会
事業テーマ	ホタル文化の醸成
主な活動場所	町内「上庄ホタルの里公園」と「外川」周辺
助成事業の成果・メッセージ	ホタルが生息する河川環境の維持と改善、及びホタルを増殖する為にエサとなるカワニナとホタルの飼育を通じて地域住民との交流を図る事を目的に活動している。しかしながら近年周辺環境の変化や集中豪雨による河川敷の荒廃等により自然生息域でのホタルが激減している。これに対応する為活動拠点内にビオオーブを造成してカワニナとホタルを養殖して減少を食い止め少なくとも以前の状況までには復元する事としたい。



団体名	山守の会プラス彩雲ひろば
事業テーマ	里山林の保全と利用促進
主な活動場所	桜井市
助成事業の成果・メッセージ	<p>1. 里山林保全活動として 林内に存する杉、桧林の健全化を図ることが保全上最も重要であると考え、会結成以来一貫して間伐に取り組み、一定の成果を上げつつあり、森林の有する機能の向上を図る。</p> <p>2. 教育、研修活動として 小学生の校外学習、市の関連団体、NPO、地域等が催す林内活動を積極的に受け入れ、森林の多様性を生かし体感することで良さを知り、同時に守る大切さを伝えている。</p>



団体名	緑友会
事業テーマ	歴史と環境に配慮した景観保全活動
主な活動場所	「古都法買入地景観形成事業」 西ノ京エリア (奈良市五条1丁目 445-23 ほか)
助成事業の成果・ メッセージ	<p>歴史的景観への配慮としては、各種の技術研修会で技術の向上を図り、平城宮跡東院庭園等の景観保全に資することができました。</p> <p>環境への配慮としては、西ノ京活動地において近隣の子供たちを招いて「イモ掘り会」を催し、自然に親しめる機会を提供しました。また西ノ京活動地に設置の雨水集水貯留設備は、エネルギー資源の節約を目的として県の「かしこいエネルギーの使い方2019」に応募し、県知事より優秀賞を受賞しました。</p>



## 「ならこーぷ環境保全活動助成」事業決定までの流れ

2019年度は25団体から応募があり、審査の結果25団体に総額で98.4万円助成しました。

### 応募要項

- (1) 応募資格  
奈良県内で活動する団体・グループ・サークル等（個人は除く）
- (2) 助成の対象  
地域の自然環境、地球環境の保全に関わる以下の活動を助成の対象とします。  
調査・研究活動、教育・啓発活動、政策提言活動、環境保全の実践活動
- (3) 助成の基準  
1件5万円を上限とし助成します。  
募集年度では同一団体への助成は1件のみとします。

### (4) 助成の流れ





市民生活協同組合ならこーぷ

〒630-8043 奈良市六条2丁目17番11号

TEL 0742-45-7884 Fax 0742-55-0504

ホームページ <http://www.naracoop.or.jp/>